

平成26年度東京都脳卒中医療連携推進事業の取組について

1 脳卒中に関する普及啓発

(1)脳卒中週間(5月25日～31日)

脳卒中の発症が疑われる具体的な症状などを紹介し、速やかな 119 番について都民への普及啓発を図った。

(2)インターネットを活用した普及啓発

twitter(東京都福祉保健局公式アカウント)による速やかな 119 番に関する普及啓発や都ホームページでの各圏域における公開講座等のPR

(3)各圏域別検討会の取組

別紙のとおり

(4)普及啓発チラシ・クリアファイルの作成・配布

①チラシ配布先

- | | |
|---|---------|
| ・郵便局(都内100局) | 20,000部 |
| ・東京都オリンピック・パラリンピック準備局事業
(多摩川ウォーキングフェスタ、TOKYOウォーク等) | 15,000部 |
| ・老人クラブ事業
(東京都老人クラブ大会、健康づくり大学校等) | 2,700部 |

②クリアファイル配布先

- | | |
|-------------------------|---------|
| ・東京マラソンEXPO | 13,000部 |
| ・大学ラグビー(秩父宮ラグビー場3試合で配布) | 5,000部 |
| ・都内都立・私立高校 | 4,400部 |

(5)電車・バス内での車内広告

都営三田線、都営バス、東急バス、京王バスで早期発見に関する広告を1か月間掲出



2 地域連携の取組

○東京都脳卒中地域連携パス合同会議を開催(全3回)

第1回・・・平成26年 6月14日(土) 参加者数:470名

- ①「聖路加国際病院の急性期脳卒中患者の実態」
東京東部脳卒中連携協議会
聖路加国際病院
脳神経外科部長 篠田 正樹 先生
- ②「災害医療センターにおける脳卒中地域連携パス適用の状況」
北多摩西部脳卒中地域連携パス協議会
独立行政法人 国立病院機構 災害医療センター
脳神経外科 早川 隆宣 先生
- ③「リハビリの現場から見た地域連携」
北多摩南部脳卒中ネットワーク研究会
日本赤十字社東京都支部 武蔵野赤十字病院
リハビリテーション科部 技術課 課長 伊東 彰 先生

第2回・・・平成26年10月4日(土) 参加者数:480名

- ①「一般社団法人 脳卒中地域医療連携パス協会のパスを運用して
～総合東京病院における運用報告～」
一般社団法人脳卒中地域医療連携パス協会
医療法人財団 健貢会 総合東京病院
リハビリテーション科 曾根 絵里奈 先生
- ②「地域連携診療計画書(連携パス) -なぜ普及しないのか-」
足立区脳卒中情報ネットワーク
医療法人社団 成和会 西新井病院
院長 安部 裕之 先生
- ③「西多摩2次医療圏の脳卒中を中心とした地域連携活動」
西多摩地域脳卒中医療連携検討会
青梅市立総合病院
神経内科部長 高橋 眞冬 先生
- ④「たまほくにおける脳卒中地域連携の現状」
北多摩北部脳卒中連携パス研究会
公益財団法人 東京都保健医療公社 多摩北部医療センター
神経内科部長 三谷 和子 先生
- ⑤「武蔵村山病院リハセンターにおける平成25年度脳卒中リハ診療」
北多摩西部脳卒中地域連携パス協議会
社会医療法人財団大和会 武蔵村山病院
副院長兼リハビリテーションセンター長 鈴木 活水 先生

第3回…平成27年 1月31日(土) 参加者数:495名

- ①「当院における区西南部脳卒中連携パス運用状況について」
区西南部医療圏脳卒中医療連携検討会
東京都立広尾病院
脳神経外科部長 吉田 賢作 先生
- ②「板橋区脳卒中懇話会の活動」
東京都区西北部脳卒中医療連携検討会
板橋区医師会
副会長 水野 重樹 先生
- ③「東京臨海病院 急性期 脳卒中患者の実態」
区東部脳卒中医療連携パス
日本私立学校振興・共済事業団 東京臨海病院
リハビリテーション室 笠原 剛敏 先生
- ④「南多摩脳卒中医療連携パスの現状と課題」
南多摩保健医療圏脳卒中医療連携協議会
東海大学八王子病院
神経内科医長 徳岡 健太郎 先生